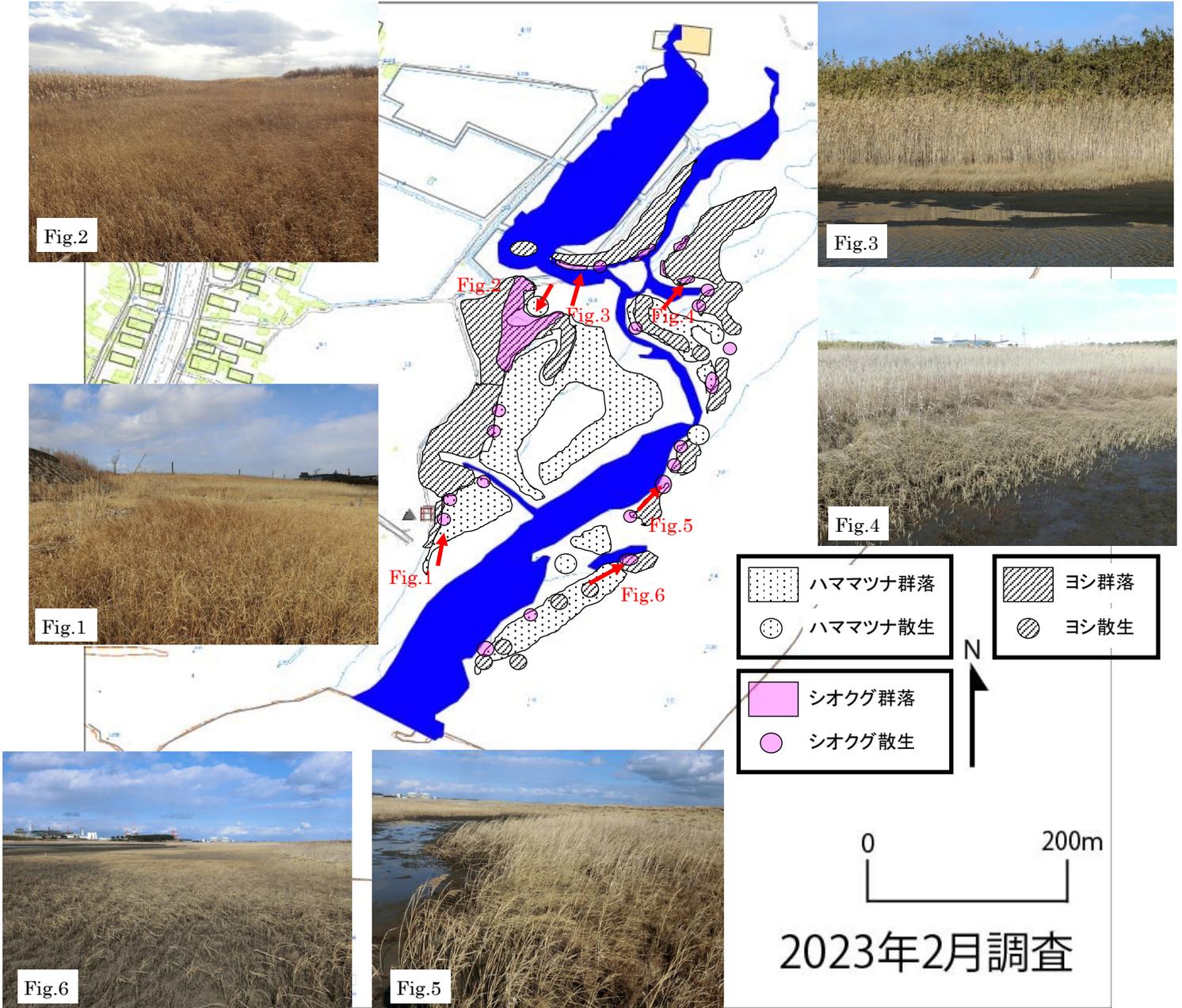


シオクグの分布①



調査日時：2023年2月22日（水）13:30～15:00，天気：晴れ

シオクグの分布を調査し、ヨシとハマツナの分布に重ね合わせて分布図を作成した。シオクグは、ヨシほど背丈が高くないため、ヨシ原の際に群生している様子がたびたび見られる。Fig. 2で見られるエリアでは、ヨシが広範囲に広がっているだけでなく、シオクグも広範囲かつ密に群生している。潟湖北側では、汀線沿いにシオクグの群生が所々に見られる（Fig. 3, Fig. 4）。潟湖東側の汀線沿いにもシオクグの群落が見られるが、密度は低く、隙間が多く見られる（Fig. 5, Fig. 6）。東側は点在しているシオクグも見られるが、北側ほど大きな群落は見られない。ヨシの近くに生育していることが多く、ヨシが生い茂るエリアではシオクグも生い茂り、ヨシがまばらなエリアでは、シオクグも散在していることが多い。今後も、ヨシと合わせて、シオクグの生息分布を注視したい。

（宮崎佳彦）